

2023 年 6 月 14 日 第 461 号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動「国会前緊急行動」に 350 人

憲法破壊、生活破壊は許されない！ 軍拡財源確保法案は廃案に！

「軍拡増税法案反対」「今すぐ廃案」－参加者のコールが国会議員会館前に響きわたりました。総がかり行動実行委員会は 6 月 13 日夜、軍拡増税法案を廃案にさせるため国会議員会館前行動を行いました。15 日の参議院財政金融委員会で軍拡財源確保法案の採決が狙われるという緊迫した情勢のもと、350 人が参加しました。立憲民主党の鬼木誠参議院議員、日本共産党の井上哲士参議院議員、沖縄の風の高良鉄美参議院議員、社民党の大椿裕子参議院議員があいさつしました。

憲法共同センターの岸本啓介共同代表が主催者あいさつ。「15 日に軍拡財源確保法案の採決が狙われ、予断を許さない状況だ。憲法を踏みにじり生活を破壊する法案は許されない。43 兆円に軍事費を拡大して敵基地攻撃能力を保有し、米軍の指揮のもとでミサイル攻撃を行うことが狙われている。そうさせないため、対話で平和をつくることが重要だ。市民と野党の力で軍拡財源確保法案は廃案にさせよう。平和な日本を切りひらくためがんばりあおう」と呼びかけました。

憲法審査会を傍聴し続けている全国市民アクションの平井正さんが、審議の状況を報告。「岸田首相は自民党総裁任期中に改憲しようとしている。改憲勢力が一体となって、緊急事態条項の創設などからはじめ本丸の 9 条改憲を狙っている」と強調しました。

ウイメンズアクションの取り組みについて憲法共同センターの舟橋初恵全労連女性部長が発言。「女



性は非正規で働く人が多く低年金の人が多く。軍拡のために増税し、社会保障費が削られると、女性へのしわ寄せが高まる。いのちや生活を奪う軍拡財源確保法案は廃案しかない。引き続きウイメンズアクションに結集し連帯してがんばる」と話しました。

練馬で入管法案に反対しスタンディングを続けている女性は「5 月 24 日から 6 月 9 日まで練馬駅頭で 17 日間スタンディングを続けた。人の尊厳に関わるのが数の力で決められる。人権が守られる社会をあきらめたくない。みんなで手をつなぎ本当の民主主義を取りもどそう」と呼びかけました。

戦争をさせない 1000 人委員会の田中直樹さんが行動提起を行いました。